

日 時 令和4年3月25日（金）

場 所 しんじゅく多文化共生プラザ

出席委員 毛受委員、小林委員、郭委員、レックス委員、金（勲）委員、ドゥラ委員、江副委員、
盛委員、安藤委員、タイン委員、本多委員、井上委員 12名

欠席委員 松田委員、李委員、ブサン委員、朴委員 4名

1 開会

2 議事

(1) 今後の審議予定について

事務局から説明があった。

(2) 必要な情報のフォローと地域参加のためのサポートについて

(2-1) 生活を始めた外国人に必要な情報のフォロー

- ・外国人が必要だと感じている情報は提供されているが、提供していることが伝わっていない。来庁際一緒に調べるなどして、自分に必要な情報を調べることを本人が経験する必要がある。
- ・自国の中でトラブルや犯罪にならないことが日本では（トラブルや犯罪に）なるということを知らず、巻き込まれることがあるので、犯罪に巻き込まれないための情報の発信が必要。また、その時々に応じてタイムリーに発信する。
- ・コロナ禍で外国人同士の金銭トラブルが増加している。また、仕事に関する詐欺被害も増加している。日本での外国人同士のトラブルについて解決方法などを教えてほしい。
- ・日本に来たばかりの自国の人を騙す外国人が増加している。犯罪や事故につながる状況・行為を何らかの形で情報発信したほうがよい。
- ・必要な情報や提供手段は個人の属性によってかなり違うので、そこを考慮して考えていく必要があるのではないかと思う。
- ・日本と自国のルールの違いによって手続きを間違えてしまうことが最近多い。日本と自国のルールについての情報は必要。例えば家族が増えたときのルールなど。
- ・情報自体は網羅できていると思うので、伝える方の整備が必要である。情報の受け手側のカテゴリー（属性）に応じて情報を提供していくのがいいのではないか。住民登録の際に共通事項と一緒に相手の在住目的、またコロナの広がりなどの状況に合わせた情報を案内できればいいのではないか。
- ・外国人や日本人の企業でも外国人に対する情報を発信している。そうした企業と連携して情報を発信したり、情報発信している企業のことを窓口で案内するといったのではないか。
- ・情報のカテゴリー毎に発信する媒体を考えられたらいいと思う。
- ・人によってすぐに自分が知りたい情報を見つけられる人もいれば中々見つけることができない人もいる。また、その人にとって必要な情報も違う。日本で暮らす外国人の方にとってどうやって情報を集めているのかを聞いて、それを属性ごとに数パターン用意して自分に近い属性の人を参考にできるようにするのはどうか。

- ・資料も人も揃っているプラザを活用するため、まずはプラザを案内する。
- ・外国人が日本で運営しているHP（言語は自国の言葉）に新宿区のHPや新宿生活スタートガイドのバナーを一定期間掲載する。
- ・手続き等で来庁した人にプラザを紹介し、相談から情報の案内までできるようにしたいと思う。
- ・役所の手続きとプラザへの案内及び訪問を1つのセットとし、訪れた方とプラザの職員がコミュニケーションを取る（簡易な案内をする）。
- ・来日したばかりの際は紙の資料を大量にもらうが実際見ていないまたは捨てている場合が多い。情報を掲載したアプリを作成し、ダウンロードしてもらおう。

(2-2) 地域参加のためのサポート

- ・地域の集まりやお祭りは地域の日本人と外国人の方が触れ合えるきっかけになりそうだが、コロナ禍で開催できずにいるため、なかなか外国人の方と接する機会がない。
- ・共通の趣味や関心のあることを通じてつながり、そこから地域につなげるようにする。日本人側も関心事等からつながる方が外国人を受け入れやすいのではないかと思う。
- ・身近なイベント（盆踊り）が町内会の方と知り合ういい機会になると思う。イベントのチラシを多言語で作成する。
- ・子育ての際に地域とのつながりが重要だと思う。また、子どもをきっかけにして地域のイベントに参加することは実際にある。子育て層にターゲットを絞ったイベントを開催する。
- ・大学生は地域とのつながりをあまり求めていないが、発災時のことや防災について関心を持つ人はいるので、そうした観点から考えてみるといいと思う。
- ・コミュニケーションができるかどうかは人によって異なる。外国人側からコミュニケーションを取ろうとしても日本人側が返してくれない場合もあるし、逆に日本人側からコミュニケーションを取ろうとしてくれる場合もある。お互いにコミュニケーションをとる姿勢が大事。
- ・地域のイベントを開催したり参加したりすることで、外国人か日本人かを問わず様々な人とコミュニケーションすることができた。
- ・外国人も日本人もお互いに理解し合うことが大事。外国人が日本について知るように、日本人も外国について興味や関心を持つといいのではないか。
- ・日本人と外国人が興味を持っていることをうまく利用すれば、お互いに理解したりコミュニケーションしたりすることは難しくないのではないかと思う。

3 次回の日程

令和4年5月27日(金)

4 閉会